

平成21年4月13日

各位

CMT アークブレイジング用シールドガス 「MO サンアーク Cシリーズ」発売の件

大陽日酸株式会社(社長:松枝 寛祐)では、このたび CMT アークブレイジング用シールドガス「MO サンアーク Cシリーズ」を開発、商品化しましたのでお知らせいたします。

1. 製品化の背景

アークブレイジングは、アーク溶接用の溶接機を使用し、銅合金ワイヤを溶加材(ろう材)として接合する施工方法で、アーク溶接よりも入熱が少ないため薄板の接合に適しており、ギャップに対する裕度が大きいことが特徴として挙げられます。近年、自動車を中心として軽量化を目的とした板材の薄板化が進み、アーク溶接による接合が困難になる部位が増加しており、代替接合法としてアークブレイジングが注目されています。

一方、従来のアークブレイジングでは、入熱量やスパッタの更なる低減、アークの不安定挙動等の改善が課題となっており、接合の高品質化・高能率化を阻害する要因となっていました。当社では、これらの課題を改善するため各種検討を行い、シールドガス組成の最適化に加え、CMT(Cold Metal Transfer)溶接機を組み合わせる方法(CMT アークブレイジング)により、これら課題の改善を実現しました。

今回、この CMT アークブレイジング用途に最適なシールドガスを、「MO サンアーク Cシリーズ」として商品化し、当社のシールドガスブランド「サンアーク」のラインナップ拡充を行いました。

2. 新製品の内容

< 主な特長 >

優れたアークの安定性・集中性

アルゴンガスを使用した場合に問題となる、アークの広がりや不安定挙動が低減されるため、クリーニング幅の狭い、止端の揃った良好なビードが得られます。

優れた耐ギャップ性・耐狙いズレ性

アルゴンガスに比べ、ギャップや狙いズレに強く、溶け分れが発生しにくくなります。これにより、特にロボットを用いる場合に狙い位置の許容範囲を広くできます。

良好なビードぬれ性 (MOサンアーク C133)

亜鉛めっき鋼板では、アルゴンガスを用いると、ビードのぬれ性が著しく低下しますが、MOサンアークはビードのぬれ性を改善し、平坦なビードが得られます。

< 製品名・用途 >

MO サンアーク C シリーズは、ワイヤ種や母材の材質に合わせて3種類ご用意しております。

型番	適用材	適用ワイヤ
MOサンアーク C130	炭素鋼板 ステンレス鋼板	銅-アルミニウム (アルミニウムブロンズ)
MOサンアーク C131	炭素鋼板 (亜鉛めっき鋼板)	銅-シリコン (シリコンブロンズ)
MOサンアーク C133	亜鉛めっき鋼板	銅-シリコン (シリコンブロンズ)

3. 技術サポート

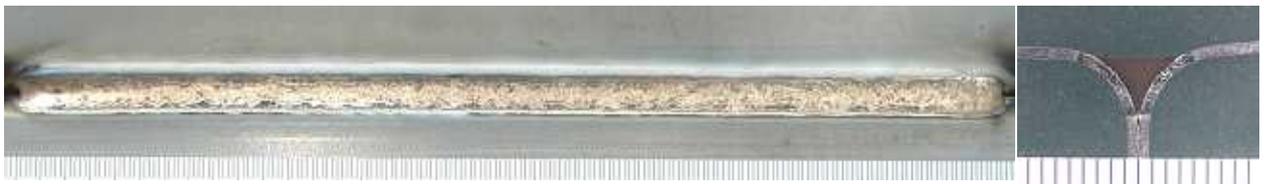
当社では、各種産業向けに溶接用シールドガス「サンアーク」シリーズを供給しておりますが、「サンアーク」単独のご提案のみにとどまらず、最適な施工条件の設定を目的とした現地テストの実施等を含めた技術的バックアップを行うとともに、ガス供給に関するご相談等ユーザーニーズにトータルでお応えしていきます。

フレア継手への適用例

従来ガス (アルゴンガス)



MOサンアーク C133



CMT は Fronius International GmbH の登録商標です。

以上

本件に関するお問合せ先

大陽日酸株式会社
品川区小山1-3-26 東洋 Bldg.
パッケージガス事業部 泉
TEL 03-5788-8335
総務本部広報部 田島、鎌田
TEL 03-5788-8015